

類 別：機械器具 16 体温計 管理医療機器
一般的名称：皮膚赤外線体温計（JMDN コード 17888000）
皮膚赤外線体温計 UT-701

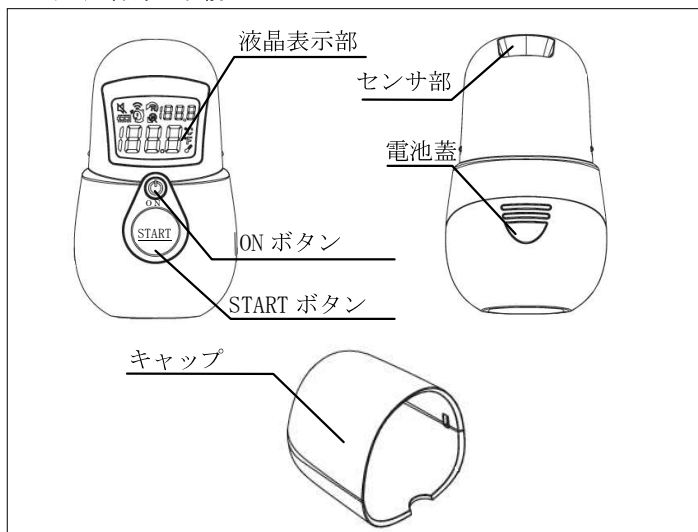
【禁忌・禁止】**<使用方法>**

（体温計を適正にご使用頂くための注意事項です。）

- ・ センサ部は、汚れたまま使用しないでください。[測定誤差の要因となります。]
- ・ 着脱可能な部品は、子供やペットの手の届かないところに保管してください。[子供やペットが誤飲する要因となります。]

【形状・構造及び原理等】**（１）各部の名前**

UT-701

**標準付属品**

取扱説明書（保証書付き）	1 枚
添付文書	1 枚
モニタ用 CR2032 リチウムボタン電池	1 個

（２）体に接触する部分の原材料

ON ボタン、キャップ、電池蓋：ABS 樹脂
START ボタン：シリコンゴム
液晶表示部の透明窓：アクリル樹脂

（３）本体寸法及び重量

寸法：81.02(高さ)×46.17(幅)×40.03(奥行き) mm
質量：約 59.4 g（電池含む）

（４）電氣的定格

電源：DC3V（CR2032 リチウムボタン電池 1 個）
電撃保護：内部電源機器 BF 形装着部

（５）動作・作動原理

被測定物から放射された赤外線をサーモパイルセンサで捉え、温度に変換します。本品は、額で測定した表面温度を舌下温度へ換算する体温計モードを備えています。

（６）品目仕様等

検温方式：赤外線式
表示範囲：体温計モード（補正温度）+34.0～+42.2℃
：温度計モード（表面温度）-22.0～+80.0℃
：室内温度 +10.0～+40.0℃

測定部位：皮膚（補正温度の場合は、額中央部）

測定精度：

- ・ 体温計モード：+36.0～+39.0℃の間は、±0.2℃
それ以外は±0.3℃

※標準室温 23℃にて標準黒体を測定した場合

- ・ 温度計モード：+22.0～+42.2℃の間は±0.3℃
-22.0～-21.9℃、+42.3～+80.0℃の間は±4% または±2℃のいずれか
大きいほうの値

※標準室温 23℃にて標準黒体を測定した場合

- ・ 室内温度：±2.0℃

機能：体温計モード、温度計モード、室内温度表示、
発熱アラーム、メモリ機能（25 メモリ）、
ミュート ON/OFF 切り替え

使用温湿度範囲：+10～+40℃ 15～90%RH

保存温湿度範囲：-20～+50℃ 95%RH 以下

（７）機能

- ・ **体温計モード**：体温計モードでは、マークが点灯します。額表面温度から舌下温度を推測演算して表示します。

- ・ **温度計モード**：温度計モードでは、マークが点灯します。実際の表面温度を示します

- ・ **メモリ機能**：体温測定の結果を 25 回分記録できます。体温計モードの測定結果は自動でメモリに保存されます。体温計モード中に  ボタンを約 1 秒押下すると、マークが点灯し、過去の記録を確認することが可能です。連続して体温を測定した場合は、前回値として画面の右上に温度が表示され、マークが点灯します。

- ・ **発熱アラーム**：体温計モードで 37.5℃以上を検出すると、短いブザー音が 3 回鳴ります。

- ・ **室内温度表示**：マークが点灯し、室内温度を表示します。1 分以上何もボタン操作がなかった場合に室内温度表示へ自動的に移行します。

- ・ **ミュート ON/OFF 切り替え**：体温計モード中に  ボタンを 3 秒間長押しすると、マークが点滅します。マークが点滅中に  ボタンを離すことで、ミュート設定となりブザー音が聞こえなくなります。再びブザー音を出す場合は同じ操作を行ってください。

取扱説明書を必ず参照してください。

【使用目的又は効果】

本品は額の皮膚温度を測定することを目的とした皮膚赤外線温度計です。表示温度には、実測温度（表面温度）と補正温度（舌下温度に換算）があります。

【使用方法等】

〔使用前の準備〕

- ・室内温度が+10～+40℃であること確認してください。
- ・室温に十分馴染ませてから使用してください。
- ・センサ部に汚れがないことを確認してください。
- ・汚れている場合は、[センサ部の清掃]に従って清掃してください。
- ・初めて本品を使う際は、電池蓋から絶縁シートを引き抜いてください。

〔電源を入れる〕

電源が OFF の場合は、 ボタンを押してください。本体が起動します。

〔体温計モードで測定する〕

(1) 測定モードの確認

 マークが表示されていることを確認してください。（初期設定は、体温計モードになっています。）

もし  マークが表示され、室内温度表示になっている場合は、 ボタンを押してください。体温計モードへと移行します。

(2) 検温する

センサ部を額の中央から 1～3cm 離れた状態で、 ボタンを押してください。連続して検温を行う場合は、 マークが表示されてから  ボタンを押してください。 マークが表示される前に  ボタンを押した場合はエラーとなります。

(3) 検温値を読む

ブザー音が鳴り、検温終了を知らせます。値を読み取ってください。

〔温度計モードで測定する〕

(1) 測定モードの切り替え

 マークが表示される体温計モードから  マークが表示される温度計モードへ切り替えるには、 ボタンを押しながら  ボタンを押してください。

(2) 検温する

センサ部を対象に向け、 ボタンを押してください。

 ボタンを押し続けると、継続的に測定します。

(3) 検温値を読む

値を読み取ってください。

〔待機状態〕

測定後、何も操作せず 1 分間放置すると自動的に室内温度表示（待機状態）となります。

〔使用後の処理〕

- ・測定が終了したら、本体にキャップをして保管してください。
- ・長時間使用しない場合は電池を外してください。

〔電池の交換〕

 マークが表示された場合、電池を交換して下さい。

＜電池交換のしかた＞

- ・電池蓋を開きます。親指を使って電池蓋を押し出すようにして開けてください。

- ・小型のドライバー等で電池を引き上げます。
- ・金属フックの下に新しい電池を挿入し、「カチッ」と音がするまで押し下げます。
- ・電池の交換はプラス、マイナスの向きを本品の表示に合わせて、マイナス側を下にして入れてください。
- ・電池蓋を取り付けてください。
- ・使用後の電池は環境保護のため、地方自治体の指導に従って処理してください。

【使用上の注意】

＜使用注意＞（次の患者には慎重に適用すること）

- ・体温計モードで測定する場合は、額の過度な汗や化粧は避けてください。〔測定誤差の要因となります。〕
- ・体温計モードで測定する場合は、運動後、入浴後、飲食後の 30 分間は測定を避けてください。〔測定誤差の要因となります。〕

＜重要な基本的注意＞

- ・+10～+40℃の環境でご使用ください。
- ・本品は温度変化に敏感なため、長時間本品を持った後やポケットに入れた後に使用しないでください。測定誤差の要因となります。
- ・室温に十分馴染ませてご使用ください。
- ・体温計モードでの補正温度は当社独自の方法により舌下温度へ換算しているため、必ずしも舌下温度に一致するものではないことをご理解の上、体温の目安として使用してください。
- ・センサ部に触れたり衝撃を与えないでください。検温値の異常や故障の原因となります。
- ・本体を水などの液体につけたり、洗ったりしないでください。故障の原因となります。

【保管方法及び有効期間等】

(1) 保管方法

- ・高温、高湿、直射日光は避けてください。
- ・ほこりの多い所での保管は避けてください。
- ・長期間（約 1 ヶ月）使用しない場合は、電池を取り出してください。
- ・-20～+50℃、95%RH 以下の条件下で保管してください。

(2) 耐用期限

4 年（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

〔センサ部の清掃〕

- ・センサ部が汚れていないか確認してください。汚れがあった場合は、消毒用エタノールを染み込ませた綿棒や柔らかい綿で清掃してください。
- ・センサ部の清掃後は、数分以上おいてから使用してください。
- ・センサ部保護のため、使用していないときにはキャップをつけて保管してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：株式会社エー・アンド・デイ

電話：0120-514-016

製造業者

名称：Radiant Innovation Inc.（中華民国）